

インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年9月8日 聖日礼拝

使徒の働き連講(15)

「祈りと御言に専念」

使徒の働き6章1節-7節

竿代照夫牧師



聖書朗読

(新約聖書)

使徒の働き6章1-7節

第二版の聖書はP217～ / 第三版の聖書はP237～

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

- 1 そのころ、弟子たちがふえるにつれて、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちが、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情を申し立てた。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給でなおざりにされていたからである。
- 2 そこで、十二使徒は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。「私たちが神のことはをあと回しにして、食卓のことに仕えるのはよくありません。

- 3 そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。
- 4 そして、私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。」

- 5 この提案は全員の承認するところとなり、
彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人
ステパノ、およびピリポ、プロコロ、
ニカノル、テモン、パルメナ、
アンテオケの改宗者ニコラオを選び、
- 6 この人たちを使徒たちの前に立たせた。
そこで使徒たちは祈って、手を彼らの上
に置いた。

7 こうして神のことは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰に入った。

説教

使徒の働き連講(15)

「祈りと御言に専念」

使徒の働き6章1節-7節

竿代照夫牧師

主テキスト

「私達は専ら祈りとみ言葉の奉仕に励むことにします。」

(使徒6：4)

はじめに

- ・ 復習：御名のためのはずかしめを受ける
光栄と喜び
- ・ 補足：キリストの苦難に与る光栄

(1ペテロ4:12-14)

「あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる火の試練を・・・キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。・・・もしキリストの名のために非難を受けるなら、あなたがたは幸いです。なぜなら、栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。」

1. 初代教会の新しい難題（1節）

- 弟子たちは、ネズミ算的に増殖した
- 教会はトラブル・フリーではない
- 問題①：ギリシヤ語ユダヤ人とヘブル語ユダヤ人間の文化的相違が齎す誤解と対立
- 問題②：受ける側の不満（感謝を忘れ、「受けるのが当然」との意識）
- 問題③：与える側の配慮不足
- 問題④：教会の優先順位の忘却（御言をさし措いての奉仕）

2. 解決のための提案（2－4節）

- 問題の把握：神の言葉の軽視
- 提案①：執事（仕えるもの）の選任
執事の条件：a.良い評判；b.聖霊の満たし；
c.実践的な知恵
教会組織の原則：a.役職は必要に応じて；
b.奉仕者の資格は靈的が
第一；c.分担と委任
- 提案②：使徒たちは祈りと御言に専念

3. 提案の実行（5－6節）

- 全員の賛同：提案→討議→決定→実行
- 執事の選任：ステパノ、ピリポ、プロコロ、
ニカノル、テモン、パルメナ、
ニコラオ
(殆どまたは全員がディアスポラ・
ユダヤ人)
- 使徒たちによる承認と按手

4. 教会の更なる進展（7節）

- 神の言葉の広まり
- 信徒の増加（掛け算的増殖）
- 祭司達の入信

おわりに：

- ・ 教会の中心的な使命（祈りと御言）
を確認しよう